

産総研オープンラボ出展報告

10月14～15日の両日、つくばセンターで「産総研オープンラボ」が開催されました。CBRCは藤副研究センター長をはじめとする4名の口頭発表と、研究成果の紹介および人材養成コンソーシアムに関する計7点のポスターを展示しました。

口頭発表

- ・ライフサイエンス分野の研究ユニット紹介
「生命情報工学研究センターの紹介」
ーバイオ産業を推進する情報技術の展開ー
藤 博幸（副研究センター長）
- ・「タンパク質立体構造に基づく創薬分子設計」
広川 貴次（創薬分子設計チーム 研究チーム長）
- ・「次世代シーケンサー・データの情報処理技術開発」
Horton Paul（配列解析チーム 研究チーム長）
- ・「次世代シーケンサー・データの超高速クラスタリングアルゴリズム」
津田 宏治（主任研究員）

ポスター展示

- ・「次世代シーケンサー対応自動アノテーションシステム」
光山 統泰（RNA情報工学チーム 研究チーム長）
- ・「情報統合基盤技術を用いたワークフロー開発」
福井 一彦（分子機能計算チーム 研究チーム長）
- ・「タンパク質実験を支援するソフトウェアの開発」
野口 保（主幹研究員）
- ・「SEVENS: GPCRの網羅的データベース」
諏訪 牧子（主幹研究員）
- ・「GPCRオリゴマー機能解析のためのインターフェイス予測プログラム」
根本 航（分子機能計算チーム 産総研特別研究員）
- ・「記号計算手法による高精度数値最適化」
中津井 雅彦（生体ネットワークチーム 産総研特別研究員）
- ・「生命情報科学人材養成コンソーシアム」
寺田 朋子（テクニカルスタッフ）



ICIC2010で最優秀論文賞に選ばれました

8月18日から20日に中国湖南省長沙市で開催された国際学会ICIC2010 (International Conference on Intelligent Computing) において、 α ヘリックス型膜タンパク質と β バレル型膜タンパク質のトポロジー予測に関する論文が最優秀論文賞に選ばれました。この研究はCBRC分子機能計算チームのM・マイケル・グロミハ主任研究員が、台湾のYuan Ze (元智) 大学のS-A.Chen 博士、Y-Y.Ou 博士との共同研究で行ったものです。

- ・S-A.Chen, Y-Y.Ou and M.M.Gromiha: "Topology prediction of alpha helical and beta barrel membrane proteins using RBF networks. ", *Lecture Notes Comp. Sci.*, **6215**, pp.642-649. (2010).

バイオジャパン出展報告

9月29日～10月1日、パシフィコ横浜で開催されたBio Japan 2010に出展いたしました。CBRCは産総研アカデミックシーズ発表会において、浅井研究センター長が「健康を守る技術：ライフイノベーションを目指すバイオインフォマティクス技術とデータベース」と題し講演を行い、また産総研ブース内に「ライフサイエンス統合DBプロジェクト：ワークフローによるゲノム・分子情報解析」、「次世代シーケンサーによる大規模転写産物解析の自動アノテーションシステム：GIGANT」の2点のポスターを出展いたしました。



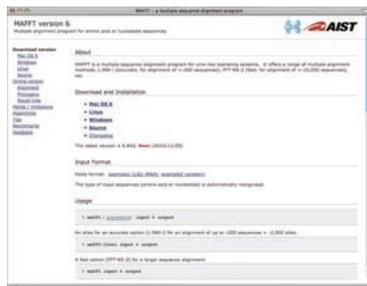
第38回構造活性相関シンポジウムで招待講演

10月30日(土)～31日(日)の2日間、徳島大学で開催された第38回構造活性相関シンポジウム(日本薬学会構造活性相関部会主催)でCBRCの広川創薬分子設計チーム長が「単体及び複合体タンパク質を標的としたインシリコスクリーニング」と題した招待講演を行いました。



成果紹介

【ソフトウェア】
MAFFT
多重配列アラインメントプログラム



【ソフトウェア】
tantan
核酸及びアミノ酸配列から、機能が未知のリポーター配列を検出する。



<http://mafft.cbrc.jp/alignment/software/>

<http://www.cbrc.jp/tantan/>

CBRCニュースレター第34号 (2011年1月1日発行)

禁無断転載

【編集発行】

技術を社会へ
Integration for Innovation



独立行政法人
産業技術総合研究所

生命情報工学研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-7 産総研臨海副都心センター別館 バイオ・IT融合研究棟

TEL:03-3599-8080 (代表) FAX:03-3599-8081

E-MAIL:cbrc2-pr@m.aist.go.jp

<http://www.cbrc.jp/>